

平成 26 年度環境省入札監視委員会定例会審議概要

開催日及び場所	平成 26 年 7 月 15 日（火） 環境省省議室		
出席委員 〈50 音順・敬称略〉	河野正男（大学名誉教授）、東田親司（大学教授）、 宮崎裕子（弁護士）、吉田博宣（大学名誉教授）		
審議対象期間	平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日		
入札・契約方式	(件数)	抽 出 案 件 < 3 件 >	
【一般競争】 (総合評価落札方式)	1 件	① 平成 25 年度富岡町除染工事（その 1）	
(最低価格落札方式)	1 件	② 平成 25 年京都御苑利用施設（テニスコート）改修工事	
【簡易公募型競争 入札】	1 件	③ 平成 25 年度大台ヶ原自然再生事業植生モニタリング等 事業	
委員からの意見 ・質問、それら に対する回答等	■意見・□質問		回 答 等
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	<p style="text-align: center;"><u>意見の具申又は勧告はなし</u></p> <p>今回、過去 10 年の本委員会の審議対象案件における一者応札の状況について報告を行った。今後、引き続き、本委員会で一者応札の状況等の分析結果を環境省から報告のうえ、競争性を高める取組について、引き続き審議を行っていくこととする。</p>		

委員からの意見・質問、それらに対する回答等

抽出案件	■意見・□質問	回 答 等
一般競争入札 (総合評価落札方式)		
①平成 25 年度富岡町 除染工事 (その 1)	<p data-bbox="469 667 724 701">高落札率について</p> <p data-bbox="424 757 751 1111">□金額が非常に高く、一者応札 (JV) だったことを考えると、競争性確保のためには、もう少し小分けにして競争性を高めることは出来なかったか。</p> <p data-bbox="424 1576 751 2067">■これまでやったことのない非常事態における緊急性の高い事業のため、除染を早く行うことが最優先とするのはやむを得ない。一方で、2年が経過し経験も蓄積されてきている中では、もう少し競争性の確保できる取組を</p>	<p data-bbox="770 757 1355 1518">□当案件は、汚染具合が比較的高い地域のため、農地の表土を 5 cm 剥ぎ取ってから除染する等、低い地域に比べ、金額が大幅に高くなっている。また、11 市町村を 10～20 年計画で順番に入札を出せば応札者も増えると思うが、平成 24, 25 年の 2 カ年で除染を行うことを政府として決定していた緊急性の高い事業のため、結果として高額な複数の発注を同時期に行う以外方法がなかった。一方で 2 年を経過して、発注の方法も徐々に確立し、終了した除染工事で経験を積んだ業者の参加も見込めるため、例えば 26 年度は、富岡町川北地域を 2 分割して発注、加えて電子入札を採用した結果、3 者及び 2 者の応札があった。</p>

	<p>検討すること。</p> <p><input type="checkbox"/> 高落札率になっている理由は何か。</p>	<p><input type="checkbox"/> これまで経験のない事業のため、地目、数量、除染の歩掛かり、除染の手法、単価などは公表されており、予定価格を類推する精度が上がっていると思慮する。</p>
	<p>契約変更について</p> <p><input type="checkbox"/> 除染工事での設計変更の割合が多いが、どうしてか。</p>	<p><input type="checkbox"/> 通常の工事であれば、2～3年かけて調査、測量・設計となるが、数ヶ月で発注する必要があること、線量が高く現地に入れなかったこと等の理由から、航空写真から数量を概算で把握し発注しているため。地権者と除染の方法等の同意を得ながら事業を進めることも含め、地目の違い、除染方法の変更など、当初の設計と違うことが多種多様に起こるため、必ず変更契約を複数回伴う事業となっている。</p>

抽出案件	■意見・□質問	回 答 等
一般競争入札		
②平成 25 年京都御苑利用施設（テニスコート）改修工事	<p>低落札率について</p> <p><input type="checkbox"/> 2 者入札なのに、落札率が非常に低いが、業者が損をしているのではないか。</p>	<p><input type="checkbox"/> 低価格調査により、資材納入業者との関係から、市場価格より低価格での仕入れが可能なこと、本社と施工地が近距離なことから、事務所費、運搬費などの経費を節約できることなどが確認でき、落札額が低かったことに問題は無かった。</p> <p><input type="checkbox"/> 直接工事費は、異なる地域の 3 業者から取り寄せた見積額のうち、最低価格を採用し予定価格を設定したもので、</p>
	<p><input type="checkbox"/> 予定価格は適正だったか。</p>	

	<input type="checkbox"/> 京都御苑を始め、皇居外苑など、国民公園関係の業務は低落札率のものが多くが当案件も含めて理由はあ るか。	<p>適正なものであった。</p> <input type="checkbox"/> 一般的に京都御苑（または京都御所）での外部発注業務には、社会的地位や会社PRを利点とし、利益を抑えてでも実績を作りたいという傾向があるが、当案件にもこのことが見られた。
--	---	---

抽出案件	■意見・ <input type="checkbox"/> 質問	回 答 等
簡易公募型競争入札		
③平成 25 年度大台ヶ原自然再生事業植生モニタリング等事業	入札執行回数について	
	<input type="checkbox"/> 8 回の入札執行の経緯は。 <input checked="" type="checkbox"/> 一者入札で業者が入札額を刻んでいるのに 8 回の入札執行は無理があるため、歯止めがかかるよう、対応の検討が必要。	<input type="checkbox"/> 通常は、2, 3 回が再度入札の回数だが、今回は、入札額と予定価格に大きな差があり、3 回目に至った時点でこれ以上続けるかの確認をしたところ、再度入札の強い意向があったので 8 回までなった。
	変更契約について	
	<input type="checkbox"/> 契約変更で 860 万円増となっているが、その理由は。	<input type="checkbox"/> 当業務の中の専門家検討会で、大台ヶ原全体の植生変化について、航空写真の撮影による植生状況の把握の必要等を指摘されたため、業務の追加を行ったもの